

令和2年度事業計画

目標 “ 実践力を高め、求められる介護福祉士像を目指そう ”

昨年度の介護労働実態調査で、介護人材の不足感は5年連続で増加という結果が出ています。国の政策では、働き手の確保は、「多様な人材や外国人などを活用していく」としており、介護人材の指導育成をしていく人材育成や、介護現場でも多様性、柔軟性のある働き方改革の取り組みが必要となっています。

このような状況がある中で、介護福祉士が介護職員の中核となり、チームのリーダーとして外国人を含めた多様な人材を指導育成、人材マネジメントを行い、質の高い介護サービスを提供していくことが求められています。

長野県介護福祉士会の基本理念は「自己決定を最大限尊重し、人間の尊厳の保持を旨とする介護サービスを提供し、すべての人々が住み慣れた地域において安心して暮らし続けることができる社会の実現を目指す」と掲げています。長野県介護福祉士会はこの基本理念を旨に介護福祉士として専門性に基づいた研修を中心に介護の質の向上を図り専門性の確立を目指してきました。

一人ひとりが介護福祉士としての知識や技術を研鑽し、利用者の自立と尊厳を踏まえた生活支援を行い、地域包括ケアシステム、共生社会の推進、災害時の災害支援等、地域づくりや地域ネットワークの中で多職種と連携協働できる力を養い、社会の期待や信頼に応えていくための取り組みを進めて参ります。

介護福祉士の資格が制定され30年経過し、介護環境が大きく変化しています。時代の変遷に合わせて将来のビジョンを描き、先を見通し個々の能力、キャリアに応じた継続研修が行えるよう模索していきたいと思えます。

職能団体としての役割、価値を再確認し、会員の皆様にとって魅力ある会となるよう、創意、工夫した組織運営を行い、福祉の増進に寄与することを目指します。

【具体的目標】

<p>1、多様な介護現場で働く介護福祉士が、実践力を高めつながり合えるための支援</p> <p>①生涯研修制度に沿ったキャリアパス研修、専門的研修を実施</p> <p>②意見交換、ワークショップ等を行う場の提供</p> <p>③実践研究発表、実践報告等の発表の場の提供と支援</p> <p>④認定介護福祉士の支援</p> <p>⑤段階的に学びが出来るよう研修を組み立てる。</p> <p>2、組織強化</p> <p>①会員拡大</p> <p>②支部、ブロックの研修や活動強化</p> <p>③機関紙、ホームページによる効果的な広報活動</p> <p>④会員への情報発信、受信方法の検討</p> <p>⑤介護福祉士養成施設との連携協働</p> <p>⑥より効果的に活動していくための組織体系の見直し</p> <p>⑦研修会館建設実現を目指し引き続き検討を進める</p>	<p>3、災害支援のための取り組み</p> <p>①災害対策委員会を新たに設置</p> <p>②災害ボランティア基礎研修の実施</p> <p>③災害時における近隣都道府県との協力</p> <p>4、介護福祉士の役割を果たし、地域包括ケアの推進</p> <p>①多職種連携、協働を理解し、実践力を高めるための研修の実施</p> <p>②多職種との顔が見える関係づくりと互いの専門性を理解する</p> <p>5、介護福祉の普及、啓発事業</p> <p>①講演会の開催</p> <p>②講師派遣事業</p> <p>③公開セミナー開催</p> <p>④県主催「介護の日」イベントへの協力</p> <p>⑤介護の魅力、やりがい発信のための取り組み</p> <p>⑥各種関係機関との連携強化</p>
---	---

【具体的な取り組み】

1、多様な介護現場で働く介護職員が、実践力を高めつながりあえるための支援

①生涯研修制度に位置づくキャリアパス研修、職能的研修の実施

- ・介護福祉士基本研修、ファーストステップ研修、サービス提供責任者研修、認定介護福祉士養成研修を実施します。
- ・職能的研修については 別紙参照

②意見交換やワークショップ等を支援

- ・介護福祉士及び介護職員が問題や課題を共有したり思いを語り合い、展望を持ち介護の仕事に取り組めるよう意見交換やワークショップ開催時のアドバイスなどの支援をします。

③実践研究発表、実践報告等の発表の場の提供と支援

- ・介護福祉実践ラボの開催 (年6回)
- ・実践研究発表や実践報告の機会を提供します。

④認定介護福祉士の活動支援

- ・実践研究発表の機会を提供します。
- ・本会で行う研修講師及びファシリテーターを要請し活動の場を提供します。

⑤段階的に学びができるよう研修を組み立てていきます。

- ・将来のビジョンを描き個々の能力、キャリアに合わせ段階的に学びができるよう検討していきます。

2、組織強化

①会員拡大

- ・事業所訪問、養成校訪問等で役員を中心に入会の促進を図ります。

②支部、ブロック研修、活動強化

- ・運営委員会による支部、ブロックの運営状況及び活動状況の把握を行い、より活性化が図れるよう協議検討を行います。
- ・内部理事に支部の相談助言、会員拡大などの活動に加わっていただきます。
- ・支部研修【年3回】ブロック研修【年に3回】実施することを要請し会の活性化を図ります。
- ・ホームページを活用して支部・ブロック研修会の周知の支援を行います。

③機関紙、ホームページによる効果的な広報活動

- ・広報委員会による機関紙ケアワーク作成。

- ・ホームページの有効活用

④会員への情報発信、受信方法の検討

- ・会員への情報発信と会員から受ける取る情報を紙媒体の他、SNS の活用その他電子媒体等による伝達方法を検討します。

⑤介護福祉士養成施設との連携協働

- ・介護福祉士会の理解と介護実践や介護の魅力を伝えるワークショップを行い、養成施設の学生と交流し顔が見える関係づくりをします。

- ・介護福祉士養成施設連絡会との情報交換

⑥より効果的に活動していくための組織体制の見直し

- ・介護福祉士は関わる範囲が広く多岐にわたる取り組みをしています。より効果的な活動を行うため、内部理事に支部活動に参画していただくようにします。

- ・地域福祉部会を委員会に変更し、時代のニーズに応じた取り組みを行って行きます。

- ・これまで在宅部会、施設部会それぞれで研修を行ってきましたが、地域包括ケアシステムの推進が加わり、介護福祉士の役割・機能が新たなステージとして問われ施設、在宅共に汎用性ある能力が求められていることから2つの部会をなくし本会の研修に組み込むことにします。

⑦研修会館建設を目指し具体的にするための取り組みを進めます。

- ・研修会館建設委員会で一定のプロセスを踏んだ結論を尊重し、土地面積、建物の規模、内容等を提案させていただき会員の声を聴きつつ、会の状況を見ながら慎重に進めます。

- ・動きがあれば随時報告します。

- ・物件探しは、専門家を入れるなどして事務局サイドで進めます。

3、災害支援のための取り組み

①災害対策委員会の設置

災害時における介護専門職のボランティア派遣要請に適切に対応できる組織体制を整理し、災害救援マニュアルの見直しを行います。

②災害ボランティア基本研修の開催

災害時に職能の役割を適切に果たすことができる人材を育成します。

③静岡県介護福祉士会との災害支援に対する協力協定による活動を行います。

情報交換及び災害発生時に協力連携します。

4、介護福祉士の役割を果たし、地域包括ケアの推進

①多職種連携協働の理解と実践力を高めるための研修の実施

②多職種と顔が見える関係づくりとお互いの専門性を理解する

個々の会員が各専門職で開催するセミナーや集い、研修会に積極的に参加し介護専門職としての取り組みを発信し介護実践を伝える。また、各種情報を提供し各専門職の理解とつながりを作るために参加を呼び掛けます。

5、介護福祉の普及、啓発活動

①講演会の開催（6月20日小諸市文化センター）

②講師派遣事業（広域連合介護認定審査会、キャリア形成訪問指導事業等）

③公開セミナーの開催（介護の日を踏まえたセミナー等）

④県主催の「介護の日」のイベントに協力します。

⑤介護の仕事、魅力、やりがい発信のための取り組み

「介護の魅力伝えたい」の取り組みを継続。テーマを設定したワークショップや介護カフェの取り組みを行い、仲間の考えや実践、経験などを学び介護の仕事に対する魅力ややりがいを再確認し、社会に発信していく取り組みにつなげます。

⑥各関係団体との連携強化

各関係団体が開催する委員会検討会へ参加します。

6、その他

(1) 広報活動事業

目 的	内 容
会員意識の向上に資する啓発、広報活動	①会報「ケアワーク信濃」の発行（年6回、偶数月に発行） <ul style="list-style-type: none">最新の介護情報の発信本会及び支部、ブロックからの活動報告会員相互の交流、活動状況、新会員の紹介意識向上のための情報発信、講習会研修会等の広報取材報告やアンケートによる会員の意見、ニーズ報告
	②ホームページの活用 <ul style="list-style-type: none">本会及び支部、ブロックからの情報発信
	③他委員会との連携 <ul style="list-style-type: none">委員会活動の情報共有、情報交換

会員拡大への広報活動	<p>①会報「ケアワーク信濃」の発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最新の介護情報の発信 ・本会及び支部、ブロックからの活動報告 ・会員相互の交流、会員の活動状況、新会員の紹介 ・意識向上のための情報発信、講習会研修会等の広報 ・取材報告やアンケートによる会員の意見、ニーズ報告 <p>②ホームページ及び会員勧誘DVDの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講習会、研修会等の広報 ・入会案内 ・情報公開 ・介護福祉士の活動状況 発信 <p>③会員への情報発信と受信方法の検討</p> <p>④他委員会との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会活動の情報共有、情報交換
------------	--

(2) 介護福祉士の専門性を高める事業

①専門部会研修等

研修名等	期 日	会 場	内 容
サービス提供責任者部会	1日	松本市	サービス提供責任者研修受講者のフォローアップ
認定介護福祉士実践発表	6月20日 11月	小諸市 長野市	総会・ 公開セミナー等で実践発表

②部門部会研修

研修名	期日	会場	内容
認定介護福祉士養成研修	4月～3月 (42日中の24日間)	JA長野県ビル	認定介護福祉士としての役割や使命を果たすために必要な知識・技術を獲得し、実践力を身に着けた介護福祉士を養成する
ファーストステップ研修	6月～12月 (16日間)	JA長野県ビル	小規模チームのリーダーや初任者の指導係として期待できる者、また現場における確かな判断、対人理解に基づく尊厳を支えるケアの実践ができる指導的職員を養成する
介護福祉士基本研修会	9月～11月 (4日間)	JA長野県ビル	根拠に基づいた介護を実践するために、求められる介護福祉士像、生活支援としての介護の視点、自立支援の考え方、求められる知識と技術、介護過程の基本的理解、介護過程の展開の実際を学ぶ
介護福祉士実習指導者研修	8月～10月 (4日間)	JA長野県ビル	介護の基本・実習指導の理論と実際・介護過程の理論と指導・スーパービジョンの意義と活用・実習指導の方法と展開・実習指導における課題への対応・指導者への期待

サービス提供責任者研修	6月～8月 (6日間)	長野市 塩尻市	介護保険法と訪問介護、訪問介護計画、手順書の作成及び記録、他職種との連携及びコミュニケーション、事業所内で部下を指導教育する方法、サービス提供責任者に必要な医療知識や緊急時対応等を学ぶ
生活支援技術講習会 (指導者養成)	2日間	フランスベッド	生活支援技術の講師として、統一した基本技術の確認と、状況に合わせた技術が提供できるよう学ぶ
リーダー養成研修	2日間	長野市	中堅職員を対象として、指導者・講師として活躍していくために、ティーチング・コーチング技術を学ぶ
プリセプター養成 (新人育成研修)	4月→延期	JA長野県ビル	介護を取り巻く現状を把握し、新人を育成する手法を学ぶ
リスクマネジメント研修 (初級編・中級編)	6月(2日間)	JA長野県ビル	介護サービスとリスク、再発防止の取り組み、管理者として必要なシステム作り、大規模災害対策を学ぶリスクマネジメント研修を初級、中級と実施
介護記録の書き方講習会	1日	未定	介護記録のポイントを押さえた書き方等、統一した介護を行うための基本を学ぶ
認知症研修	2日間	未定	認知症についての理解を深め、その場の状況に応じた尊厳のある関わり方の基本から応用までを習得する
ターミナルケア研修	1日	未定	人生の最終章をその人らしく支えるために、終末期の身体の状態を理解し、利用者・家族等との関わり方、他職種との連携について学ぶ
介護現場に必要な 医学的知識の研修	1日	未定	状態の変化や状況を把握し、スムーズに医療へ繋ぐことができるように、フィジカルアセスメント等の知識や技術を習得する
リハビリテーション 介護技術研修	1日	未定	日常生活を意識したリハビリテーションの意義を学び、実技を通して技術を習得する

多職種連携に関する研修	2日間	未定	住み慣れた地域社会で自分らしい生活を最期まで続けられるように、多職種連携、協同して総合的な支援していくことを学ぶ
権利擁護・虐待防止研修	半日	未定	事例を通して、権利擁護・虐待防止を学ぶ
災害ボランティア研修	半日	未定	災害時における介護福祉士としてのボランティアの在り方を学ぶ
キャリア形成訪問指導 事業講師合同研修	1日	未定	一定レベルの研修内容が提供できるよう、各々が講義している内容を共有し学び合うとともに、講師を養成するためのスキルも学習する

研修委員会	4月、6月、12月	松本市松南地区公民館	・研修に関するアンケート調査(R2年2月～4月)の集計
-------	-----------	------------	-----------------------------

③

講座名等	期 日	会 場	内 容
全国一斉模擬試験	12月初旬	2会場(東北信・中南信)	全国一斉模擬試験の実施

(3) その他本会の目的を達成するために必要な事業

1) 諸会議の開催

- ① 定時社員総会 年1回(6月20日 小諸市 小諸市文化センター)
- ② 理事会 年3回(6月、12月、3月)
- ③ 委員会の開催
 - ア 運営委員会 年6回 事業運営等を協議
 - イ 広報委員会 年6回 編集会議 ホームページ担当者会議 年2回
 - ウ 研修委員会 年3回 研修の運営、企画について討議
 - エ 災害対策委員会 災害マニュアルの再検討等
 - オ 地域福祉委員会 時代のニーズに求められている研修の運営、企画について討議
 - カ 組織委員会 年6回 会員の拡大と組織の充実を推進するための協議と活動

I. 新入会員勧誘のための活動	<ul style="list-style-type: none"> ・入会キャンペーン企画 ・各事業所訪問 ・研修会会場での入会説明 ・養成校訪問(ワークショップ方式)
II. 介護カフェ企画、開催	<ul style="list-style-type: none"> ・支部ごとに開催 ・研修会と同時開催

Ⅲ. 情報伝達方法の検討	・ 広報委員会との連携
Ⅳ. 介護福祉士意識調査	
Ⅴ. 組織委員会定期開催	・ 2か月に1回委員会開催 ・ 定期的に入会状況を把握し会員拡大促進を図る

- ④ 特別委員会（研修プログラムの可視化についての検討委員会）
- ⑤ 三役会 適宜
- ⑥ 支部総会 年1回
- ⑦ 支部役員会 適宜

2)その他

- ① 日本介護福祉士会総会(代議員会)（5月25日）（東京都）
- ② 日本介護福祉士会第27回全国大会・第18回日本介護学会 in ふくしま(10月9日～10日)（福島県）
- ③ 組織運営管理事業